

ワークショップ教材 『挑戦！ごみゼロ生活』

WS3：ごみゼロ生活に挑戦しよう②



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

ワークショップを始める際の「表紙」としてのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

任意の方法で場づくりをお願いします。また、冒頭は前回までの内容のおさらいスライドが続きます。あまり多くの時間を取ることはできないため、重点を置くスライドをいくつか決めてメリハリをつけながら進めるようにしてください。

今回のテーマ

環境

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマをおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回は『環境』をテーマにやってるよね。みんなは環境について、どんな仕事について探究してるんだっけ？」などと問いかけて、思い出しの時間を取りましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマを発表するスライドです。ここで、子どもたちに「“環境”をテーマにした仕事って、どんな仕事だろう？」と軽く考えさせます。

<ファシリテーションのコツ>

「何だと思う？」などと子どもたちに問いかけてみて、反応（の良さ）に応じて数名に当てさせたりしても良いでしょう。「何だろう？」という思考を子どもたちに持たせた上で「環境なのですが、次の仕事に挑戦してもらいます。」と話して、次のスライドに進みます。

「コンサルタント」という仕事

に挑戦します



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

今回のテーマとなる「仕事」（＝コンサルタント）をおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

次のスライドに問いかけがあるので、このスライドでは「コンサルタント」というキーワードをしっかりと思い出してもらえればOKです。テンポよく、次のスライドに進みましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマとなる「仕事」を発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

知らないことを前提として、「コンサルタントって知ってる人～?」「コンサルタントってどんな仕事だと思う?」「この写真の人、何してるかな?」などと問いかけましょう。「知らない」が多いと思いますが、写真を見て予測して答えてくれる子もいると思います。子どもたちと対話をしながら、「コンサルタントはね…」と言って、次のスライドに進みましょう。

コンサルタントって どんな仕事だっけ？

コンサルタントにとって 大事なことは？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

「コンサルタントとはどんな仕事か？ 大切なことは何か？」を改めて考えるスライドです。

▼初掲情報

<ファシリテーションのコツ>

「今回は『コンサルタント』の仕事に挑戦しているんだっけね！ コンサルタントって、どんな仕事をする人だったっけ？」などと問いかけて、具体的にどんな仕事をするのか、大切なことは何かを思い出しながら考えさせるようにファシリテーションしましょう。

コンサルタントの仕事とは 分析する ⇒ 提案する



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

コンサルタントの仕事で大切なことをおさらいするスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

下記を参考に、「良い提案のためには、『分析』が必要不可欠」ということをしっかりとメッセージしましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

コンサルタントの仕事を一言で解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

基本的には「コンサルタント」を知っている子は少ないので、簡単に言うとどんな仕事なのかを解説してください。たとえば、「誰かが困っていること似ついて調べて、『○○○なので △△△したほうがいいですよ!』と提案する仕事だよ。」というイメージです。その上で、「いい提案をするためには、分析することが必要なんだけど、分析ってどうすることかな?」などと次のスライドにつながる問いかけをしていきましょう。スライドのイラストを使って、「この人、なんか図を指差してるよね!」などと触れながら進めても良いと思います。

特に大事なのは きちんと分析すること

複雑な事柄を**一つ一つ**の要素や成分に**分け**、
その構成などを**明らかに**する
(三省堂「国語辞典」での『分析』の意味)

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

「分析すること」について、改めて解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

分析の概念は子どもにとっては難しいので、下記を参考に改めて解説しましょう。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

「分析すること」について解説するスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「誰かに提案をするには（orコンサルタントの仕事には）、きちんと分析することが大切！」

「分析とは、複雑なことを1つ1つに分解して、分かりやすくすることだよ！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージおよび解説を伝えた上で、「分析するの好きな人〜?」「最近、分析したものとかある?」などと徐々に対話を広げていきましょう。「提案するのって、人が思いつかないようなアイデアを出す力がすごく必要そうだけど、実はコツコツ『分析』をすることが良い提案につながるんだよ!」などと、分析することの重要性を伝えてください。具体例として、日常生活の例を挙げて話ができるとう効果的です。

身の回りから環境を良くしよう！



君の分析と提案にかかっている！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

子どもたちを「環境改善活動」に誘い込むスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「環境について考えるときは、身の回りのことから取り組むことが大事！」

<ファシリテーションのコツ>

子どもたちのワクワク感を引き出すイメージで進行しましょう。「これからの地球は、みんな一人ひとりの分析と提案にかかっているからね！」と伝え、やる気を引き出してあげてください。

今回のテーマ 「ごみ」

ごみについて分析をして
ごみ量削減に取り組みます！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

環境に関するテーマとして「ごみ」を改めて提示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「前は、身の回りのごみについていろいろ考えたね！」などとコメントし、今回の内容へと進んでいきましょう。宿題については、次のスライド以降で扱うため、この場面では触れなくてOKです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

今回のテーマである「環境」を「ごみ」へと絞り込んで、改めて発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回のテーマは『ごみ』です！」「みんなにはこれから、『ごみ』について分析をしてもらって、ごみ量削減に取り組んでもらいます！」と元気よく発表し、子どもたちを盛り上げましょう。

ミッション ごみゼロ生活に挑戦！

どれだけごみを減らせるだろうか？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
ミッションをおさらいするスライドです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
これからの期間のミッションを発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「難しそうだけど、面白そう！」という雰囲気うまくつくれるよう心がけて発表しましょう。「この教室でじゃなくて、みんなの普段の生活の中で挑戦してもらいます！」と位置づけを伝えつつ、挑戦意欲をうまく引き出していきましょう。



驚異のごみゼロ生活



あなたひとりではじめられる、
ささやかで
楽しい革命です



家族4人、
1年間のごみは
たったこれだけ!



世界10ヶ国
以上で翻訳され
大反響!

ジョンソンさんの家は
家族4人で1年間のごみが
たったこれだけ

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.

参考：ベア・ジョンソン著『ゼロ・ウェイスト・ホーム』



<スライドの位置づけ> 再掲

「ごみゼロ生活」の実践について振り返るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

改めてこの事例に触れ、高い目標を見せることで今後の取り組みの挑戦意欲を煽ります。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ生活」を実践している人（と本）を紹介するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

前パートで触れた「1日1人の平均ごみ量=約1kg」ということを引き合いに出しながら、「1年間でこれだけって、驚きだよな!」と子どもたちと驚きを共有しながら進めると良いでしょう。その上で、「でも、実際にやっている人がいるんだから、みんなも挑戦できるはず!」と盛り上げていきましょう。

<参考情報> 『ゼロ・ウェイスト・ホーム』

カリフォルニア在住のフランス人女性ベン・ジョンソン氏による、シンプルでモノを持たない暮らしの実践を紹介した書籍。「台所と買い物」「仕事部屋」「子育てと学校」「外食・旅行」など生活のシーンごとに紹介される実践的なアイデアには、さまざまな角度から暮らしを変えていくヒントが散りばめられている。「リフューズ（断る）」「リデュース（減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源化する）」「ロット（堆肥化する）」とい

う5つの基本ステップをもとに、生活のシーンごとに実践的な取り組みが紹介されている。



挑戦結果をふりかえろう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

宿題で挑戦した「ごみゼロ生活」の結果をふりかえるパートに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「みんなには、それぞれ『ごみゼロ生活』に挑戦してもらいました!」「どうだった～?」などと軽く問いかけて、(本スライドから次のスライドにかけて)感想をいくつか拾い上げながら本編に入っていきます。

▼前回の宿題▼ 1週間分のごみ量を計測 + ごみゼロ生活に挑戦！

資源ごみと燃えるごみを減らせたか？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

前回の宿題を確認するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

もしも宿題に取り組めていない子がいた場合は、「近くのお友達にやったことを教えてもらいながら参加しよう！」などの対応をしてください。

ごみゼロ チャレンジの 結果をまとめよう

前回のごみ量と比較するグラフを作成！
(一人ずつ、目標設定したごみについて)

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



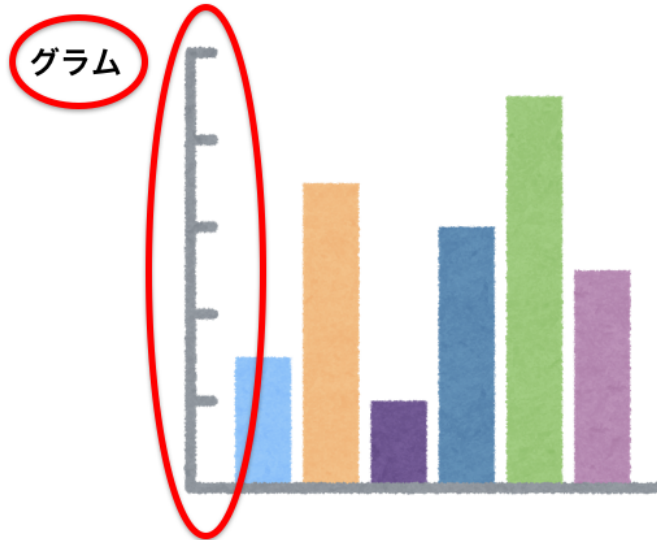
<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ生活」の結果をまとめるワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

詳しいまとめ方は次のスライド以降で解説していきます。ここでは、「コンサルタントの仕事は、事実をしっかりと分析することが大事だったよね。」のように触れながら、「まとめたり振り返ったりすることは大切！」ということをメッセージするようにファシリテーションしていきましょう。

グラフを書く時に大事なこと（確認） タテの軸の「単位」「目盛り」



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

グラフを書くときのポイントをおさらいするスライドです。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>

グラフを書くときのポイントを解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「横には、みんなそれぞれのデータを並べて書いていくんだけど、縦は何で比べるかによって変わります!」「大事なのは、『単位』と『目盛り』だよ!」と解説を進めていきます。

「たとえば、ごみの重さで比べるなら、単位は『グラム』になるよね!」などと進め、「ビンのごみだったら、単位は何にすると比べやすいかな?」などと問いかけ、子どもたち考えさせるのも理解を深める上で効果的です。

ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

分類	中身：どんなものがあった？	測り方	計測値①	計測値②
①生ごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ 袋の数 個分	グラム
②燃えるごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ リットル袋 袋の数 個分	グラム
③燃えないごみ		個数	個	個
④資源ごみ	雑紙（新聞・雑誌・広告等）	積んだ時の高さ	センチ	
	ダンボール	個数	個	
	ペットボトル	本数	本	
	缶	本数	本	
	瓶	本数	本	
	紙パック（牛乳等）	個数	個	
	食品トレー	個数	個	
プラごみ（プラマークあり）	個数	個	個	

名前



Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.

<スライドの位置づけ> 再掲

『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』を手元に準備してもらうためのスライドです。

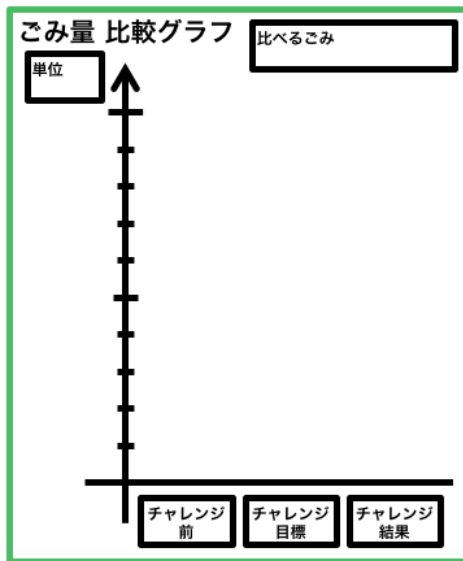
<ファシリテーションのコツ>

このスライドを掲示して、「みんなが宿題で計測して書いてきたこのシートを準備しましょう。」と話し、ワークの準備を整えてください。

ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～



目標達成できた？できなかった？

うまくいったことは？

大変だったことは？

もっとうまそうとよさそう？

名前

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』の書き方を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

ここでは左側のグラフ欄のみ解説すればOKです。初めに、「比べるごみ」を右上の欄に記入するように指示します。次に、そのごみをどの「単位」で比べるのかを左上の欄に記入するように指示します。次に、目盛りの取り方のコツを解説します。ここは算数が苦手な人は難しく感じる部分なので、全体への解説で満足せず、個々人のフォローで理解を促進するよう意識して動きましょう。最後に、横軸をそれぞれ説明して個人ワークに移ります。

<配布物>

- ・『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

グラフが描けたら アイデアを深く 振り返ろう

目標達成できた？ うまくいったことは？
難しかったことは？ 改善点は？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

作成したグラフを参考にして、取り組み結果を振り返るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「書いたグラフを見て、右の項目について振り返りをしていきましょう。」と伝え、前スライドに戻って右側の欄の観点を解説します。「まずは、自分がやったことがどうだったかを徹底的に考えて振り返ってから、今後どうする？ということを考えるようにしましょう！」などと大人の社会でやっている振り返りを子どもたちにも教えてあげるようなイメージでファシリテーションしていきましょう。

お互いに アイデアを伝えよう

シートを発表して「なぜ減ったの？」
「何が前と変わった？」など質問し合おう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

各自が振り返った内容を共有し、お互いに質問し合うワークのスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「まず、どんな作戦（アイデア）だったのかを紹介した後に、グラフを見せながら取り組み結果を話していこう。」などと大まかな発表の仕方を解説します。発表を聞く側は、疑問に思ったことなどを質問してどんどん深く探究していくように促します。

<配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋（黄） : 1束/島

お互いの アイデアを磨こう

「もっとこうするとよさそう！」という
アイデアをふせんに書いてプレゼントしよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



＜スライドの位置づけ＞

前ワークの続きとして「アイデアを磨く」ワークに入るスライドです。

＜ファシリテーションのコツ＞

「ここがダメ！ではなくて、もっとこうすると良さそうじゃない？とアイデアをプレゼントするような気持ちでやっていこう！」というようなニュアンスでワークに入っていきます。ここでは、先ほどの「質問ふせん」と区別するために付箋の色を変えるようにしてください。

＜配布物＞

・付箋（ピンクなど） : 1束/島

他に「ごみ量」が 変化したのは？

時間が余ったらチャレンジしたところ
以外のごみについても振り返ろう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

他の「ごみ量」の変化について振り返るスライドです。

<進め方>

- (1) 個人ワーク：2枚（前回と今回）の『ごみ計測シート』を並べて、変化したところを探
す。
- (2) グループワーク：「なんで変化したの？」 「どんな方法で減らしたの？」と周りが質問
しそれに答える。

中間発表

ごみゼロ チャレンジの「結果」と アイデアの「改善」について 発表しよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

チャレンジの「結果」とアイデアの「改善」を発表する場面のスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「発表する人は、①どのごみを減らすために、②どんな作戦で挑み、③どんな結果が出たか、を発表して、最後に④作戦を改善するアイデアを発表しましょう。」「聞いている人は、自分の作戦にも関係しそうなことや使えそうなアイデアはないかな？という意識で発表を聞こう。」などと、それぞれに意識するポイントを与えてあげてから発表に入ると、場が活性化しやすいと思います。

 PART2 

ごみゼロに挑戦しよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ アイデアを考える」パートに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「もう一度、『ごみゼロ生活』に挑戦しよう！」と勢いを持ってファシリテーションしていきましょう。

生ごみ

次は難関！減らせるかな？

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

次の取り組み対象を発表するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「今回の目標はこれです！」と発表し、「生ごみ」にフォーカスすることを伝えます。

ごみを減らす3つのやり方

優先順位は、一番ラクにできる「リデュース」から



減らすことに
挑戦しよう！



ディスポーザー
を使っている人

<スライドの位置づけ>

ごみを減らす3つのやり方をおさらいしつつ、「生ごみを減らすことの定義」を確認するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

「自分の家に生ごみを処理するディスポーザーがついている人は、ディスポーザーに入れる前のごみの量を減らすアイデアを考えてください！」などと説明し、前提を揃えるようにしてください。

ごみゼロ アイデア を考えよう

▼ポイント▼
「ラクに」できるか
「楽しく」できるか

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ごみゼロ アイデアを考える」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

アイデア出しのポイントとして、「ラクにできるか?」「楽しくできるか?」という観点を改めて意識させるようにしましょう。前回も触れている内容なので、なるべくワークの時間を長く取ることを意識してテンポよく進めていってください。

まずはたくさん アイデアの種を出そう

バカげたアイデア、大歓迎！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
基本的に下記同様。

<配布物>

- ・サインペン : 1本/人
- ・付箋 : 1束/島

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
アイデア出しのポイントを解説するスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「アイデアを出すときに一番大事なことは、思いついたアイデアを潰さないこと！」

<ファシリテーションのコツ>

自信のないアイデアは、思いついても「表に出しづらい」という心情が働くものです。そのため、「本当に何でもいいんだ！」という雰囲気づくりはとても重要です。（雰囲気を見て）講師のほうから「本当にバカバカしいアイデア（の例）」を出してあげても良いでしょう。（※次のスライドにも例示あり）

生ごみを飼い猫
に与える

みかんの皮まで
食べる

料理を少なめに
作る

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
基本的に下記同様。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
ワークの進め方と具体例を提示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>
スライドにある具体例を面白そうに読み上げていきましょう。アイデア出しの障壁を下げる
ことが大切です。

いいアイデアを選んで 深めよう

実際に挑戦したい作戦をシートに書こう！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.





<スライドの位置づけ> 再掲
基本的に下記同様。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
「思いついたアイデアを深める」ワークに入るスライドです。

<ファシリテーションのコツ>
スライドを読み上げる程度で次のスライドに進み、進め方の解説にテンポよく移っていきましょう。

ごみゼロ アイデアシート		
作戦名 ○○○ みかん風	減らすごみ みかんの皮	減らす量 0にする
作戦の内容（絵と文章で）  <ul style="list-style-type: none"> ・みかんの皮を刻む ・全ての料理にみかんの皮を混ぜて「みかん風味」を出す（＝隠し味） ・りんごでも、バナナでも何でもできる 		作戦成功のためのコツ <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんに協力してもらう ・お母さん以外に秘密にする
		作戦の邪魔になるもの <ul style="list-style-type: none"> ・みかんがあわない料理もある
名前 _____		
<small>Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.</small> 		

<スライドの位置づけ>

『ごみゼロ アイデアシート』の書き方を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

まずは、上段の3つの欄の項目を説明した上で、例として書かれた内容を読み上げて行きます。次に、「作戦の内容」欄に触れ、例として書かれた内容を読んで行きます。最後に右側の欄の解説に移っていきることになりますが、この2つの欄は次のスライドを行き来しながら解説すると分かりやすいと思います。

<配布物>

- ・『ごみゼロ アイデアシート』 : 1枚/人

▼作戦成功のコツとは？▼
アイデアを成功に導くための工夫！
できるだけ具体的に考えよう。

▼作戦の邪魔になるものとは？▼
アイデアを実践する時に難しいポイントや
失敗してしまう可能性があること！
事前に把握して対策しよう！

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
基本的に下記同様。


▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
『さみゼロ アイデアシート』の右側の記入欄について解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>
基本的にはスライドに記載されている解説をしっかりとしましょう。前スライドと行き来しながら、どの欄のことかを指し示しながら解説すると分かりやすいと思います。

ごみゼロ アイデアシート		
作戦名	減らすごみ	減らす量
作戦の内容（絵と文章で）	作戦成功のためのコツ	
	作戦の邪魔になるもの	
名前		

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲
基本的に下記同様。

▼初掲情報

<スライドの位置づけ>
『ごみゼロ アイデアシート』を掲示するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>
印刷用がメインで、このスライドを使って何かを解説することはありません。

▼今回の宿題▼ 1週間分のごみ量を計測 + ごみゼロ生活に挑戦！ (生ごみ編)

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

今回の宿題を解説するスライドです。

<ファシリテーションのコツ>

前回・前々回の宿題と同様に、今回も「1週間分のごみ量を計測」してもらいます。それに加えて、先ほどアイデアを考えた「ごみゼロ生活」を実践してもらいます。取り組む事柄が増えるため、一度集中して聞くように注目を集めて説明するようにしてください。同時に、「ごみゼロ生活」の後押しをする（送り出す）ようなイメージでファシリテーションするように心がけましょう。

ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）

計測期間

～

分類	中身：どんなものがあった？	測り方	計測値①	計測値②
①生ごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ 袋の数 個分	グラム
②燃えるごみ		① 袋の大きさ・数と詰まり具合 ② 重さ	袋の大きさ リットル袋 袋の数 個分	グラム
③燃えないごみ		個数	個	個
④資源ごみ	雑紙（新聞・雑誌・広告等）	積んだ時の高さ	センチ	個
	ダンボール	個数	個	
	ペットボトル	本数	本	
	缶	本数	本	
	瓶	本数	本	
	紙パック（牛乳等）	個数	個	
	食品トレー	個数	個	
プラごみ（プラマークあり）	個数	個	個	

名前

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ> 再掲

『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』を改めて解説するスライドです。

<配布物>

- ・『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』 : 1枚/人

今日のふりかえり

「学んだこと（＝発見・気づき）」
「今後へ活かしたいこと」を
ふりかえりシートに書こう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

「ふりかえり」セッションへの
導入スライドです。

<伝えたいメッセージ>


「楽しんだ後は、どんなことを
発見したか、どんなことに気づい
たかをちゃんと振り返ることが大

切！」

「ふりかえりをすると、今までできなかったことがどんどんできるようになっていくよ！」

＜ファシリテーションのコツ＞

上記のメッセージをシンプルに伝え、ふりかえりの方法は次のスライドを使って解説しましょう。

環境	1ヶ月の目標（環境ワークショップが終わった時に達成していたこと）		名前	
	毎週のふりかえり			
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
	月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）		今後へ何を活かしたいか？
月 日	今日の授業で何を学んだ？（＝発見・気づき）	目標はどの程度達成できたか？		
Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.				

<スライドの位置づけ> 再掲

『ふりかえりシート』の書き方を解説するスライドです。

<進め方>

- (1) 初回に配布された『ふりかえりシート』を取り出す。
- (2) (まだ書けていない人は)「環境ワークショップが終わった時に達成していたこと」を書く。
- (3) “毎週のふりかえり”の3段目に今日の日付を書いて、その横に「学んだこと（＝発見・気づき）」と「今後に活かしたいこと」を書く。
- (4) 大切に保管する。(※シリーズを通して、このシートに書き足していく。)

<ファシリテーションのコツ>

シートを忘れていたり失くしたりした子どもがいたら、『ふりかえりシート』を配布します。
上記の進め方をしっかりと指示しましょう。筆が進んでいない子どもがいたら、「○○したら、うまくいったじゃん！」などと助け舟を出してあげましょう。

【ポイント】

知識だけで終わらず行動してみよう

事実やデータをもとに
自分なりの意見とアイデアを考えよう

Copyright © kaeru+project All Rights Reserved.



<スライドの位置づけ>

最後のまとめのスライドです。

<伝えたいメッセージ>

「行動することが大切！」

「事実やデータをもとにして、自分なりの意見やアイデアを考えよう！」

<ファシリテーションのコツ>

上記のメッセージを強く伝え、次回へのポジティブな熱量（楽しい雰囲気）を保ってワークショップを終了していきましょう。最後に、改めて宿題について発破をかけても良いと思います。